

償還交付運用報告書

スイス好配当株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

《愛称》アルプスの恵み

追加型投信 / 海外 / 株式 特化型

<線上償還>

第8期 (信託終了日2022年2月17日)

作成対象期間 (2021年9月18日~2022年2月17日)

●運用方針

スイス好配当株式マザーファンドを通じて、主にスイスの好配当株式へ分散投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

受益者のみなさまへ

平素は「スイス好配当株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、信託約款の規定に基づき、償還の手続きを行い、2022年2月17日に線上償還いたしました。

当作成対象期間も、左記の運用方針に基づき信託財産の運用を行いました。ここに期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

長い間ご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

第8期末 (2022年2月17日)		
	(為替ヘッジあり)	(為替ヘッジなし)
償還価額	14,076円75銭	14,917円24銭
純資産総額	1,156百万円	1,157百万円
第8期 (2021年9月18日~2022年2月17日)		
	(為替ヘッジあり)	(為替ヘッジなし)
騰落率	3.2%	8.3%
分配金合計	-円	-円

※騰落率は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

● 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号

ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

<運用報告書のお問い合わせ先>

サポートデスク 0120-565787

(受付時間：営業日の午前9時~午後5時)

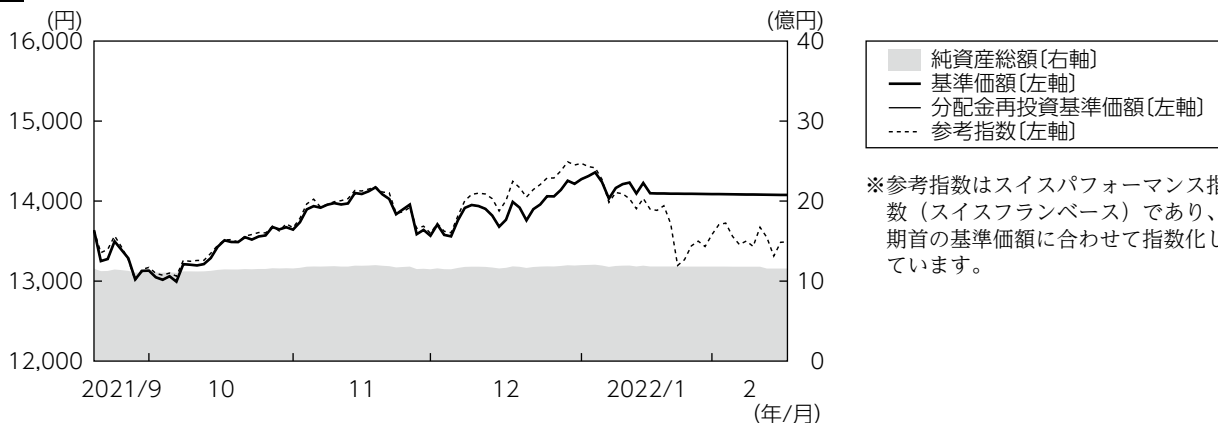
当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) を電磁的方法により交付できる旨定めています。

運用報告書 (全体版) は、上記ホームページから「投資信託情報」を選択し、償還ファンダー一覧で閲覧およびダウンロードすることができます。

また、運用報告書 (全体版) を書面でご要望の場合は、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移 (為替ヘッジあり)



※参考指数はスイスパフォーマンス指数 (スイスフランベース) であり、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

第8期首(2021年9月17日)：13,637円

償還時(2022年2月17日)：14,076円75銭(既払分配金－円)

騰落率：3.2%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因 (為替ヘッジあり)

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じてスイスの好配当株式に分散投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

(上昇要因)

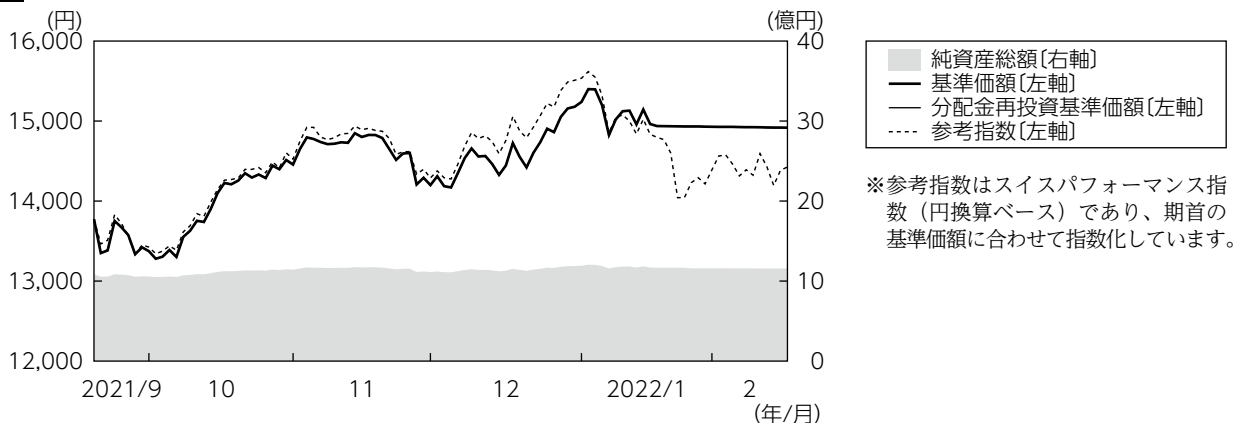
- ・期首から2021年12月末にかけて、比較的良好な企業決算の内容や、新型コロナウイルスの新たな変異株に対する過度の警戒感が後退したことから、スイス株式相場が堅調に推移したこと

(下落要因)

- ・2022年1月以降、米国における金融政策正常化の動きやウクライナ情勢を巡る先行き不透明感に加えてスイス長期金利の上昇も嫌気され、スイス株式相場が下落したこと

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移 (為替ヘッジなし)



第8期首(2021年9月17日)：13,774円

償還時(2022年2月17日)：14,917円24銭(既払分配金－円)

騰落率：8.3%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因 (為替ヘッジなし)

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じてスイスの好配当株式に分散投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

(上昇要因)

- ・期首から2021年12月末にかけて、比較的良好な企業決算の内容や、新型コロナウイルスの新たな変異株に対する過度の警戒感が後退したことから、スイス株式相場が堅調に推移したこと
- ・期首から2021年10月末にかけては英国における早期の利上げ観測を受けて、12月後半には同国における利上げ実施を受けて、英ポンドが他の欧州通貨をけん引する展開となる中、スイスフランが上昇したこと

(下落要因)

- ・2022年1月以降、米国における金融政策正常化の動きやウクライナ情勢を巡る先行き不透明感に加えてスイス長期金利の上昇も嫌気され、スイス株式相場が下落したほか、投資家の欧州通貨に対する慎重姿勢からスイスフランの円に対する上値が抑えられたこと

1万口当たりの費用明細
 (為替ヘッジあり)

項目	当期		項目の概要
	2021年9月18日～2022年2月17日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	98円	0.715%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率 ※期中の平均基準価額は13,748円です。
(投信会社)	(49)	(0.355)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(48)	(0.346)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(1)	(0.006)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	3	0.023	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.008)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	102	0.744	

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

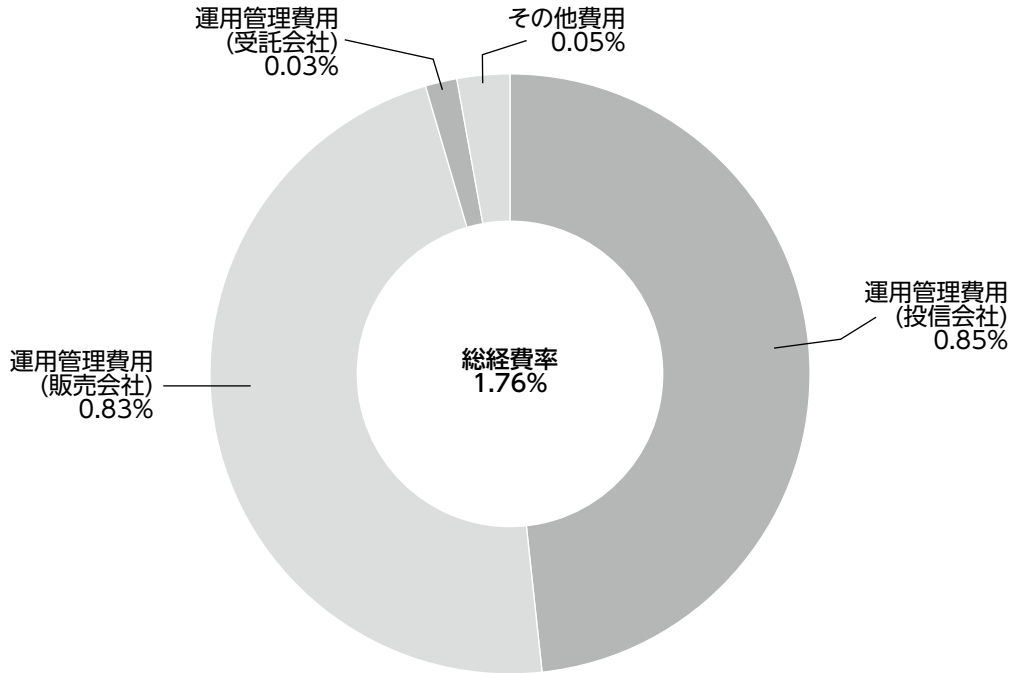
(注2)消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報) 総経費率
(為替ヘッジあり)**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



(注)費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注)各比率は、年率換算した値です。

(注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細
(為替ヘッジなし)

項目	当期		項目の概要
	2021年9月18日～2022年2月17日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	103円	0.715%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率 ※期中の平均基準価額は14,467円です。
(投信会社)	(51)	(0.355)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(50)	(0.346)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.014)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(1)	(0.006)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	3	0.023	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.008)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	107	0.744	

(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2)消費税は報告日の税率を採用しています。

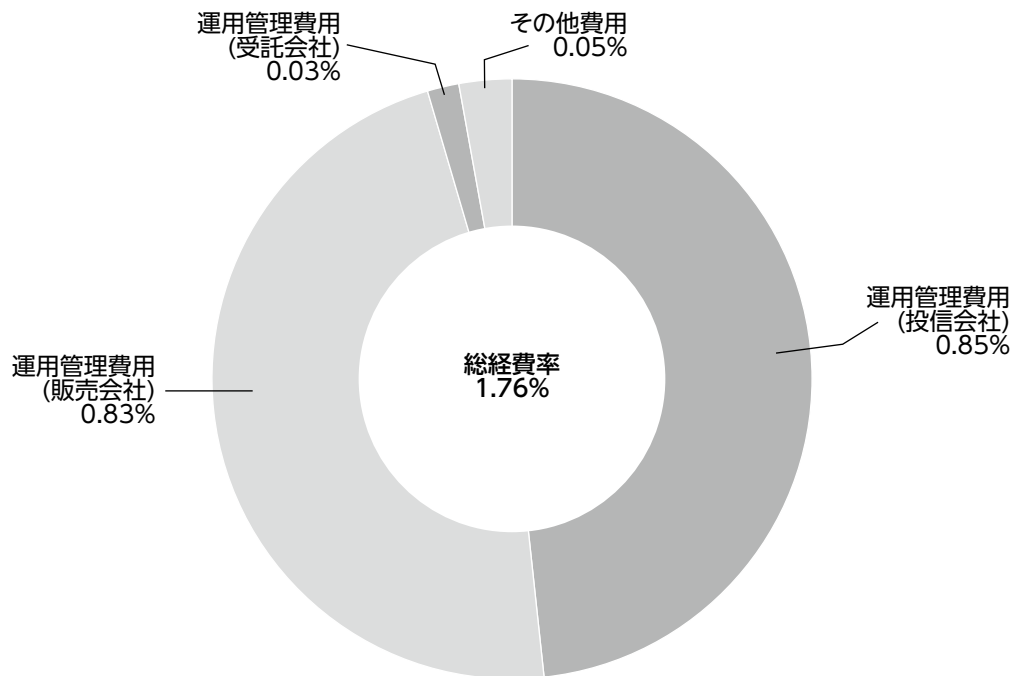
(注3)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

(為替ヘッジなし)

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



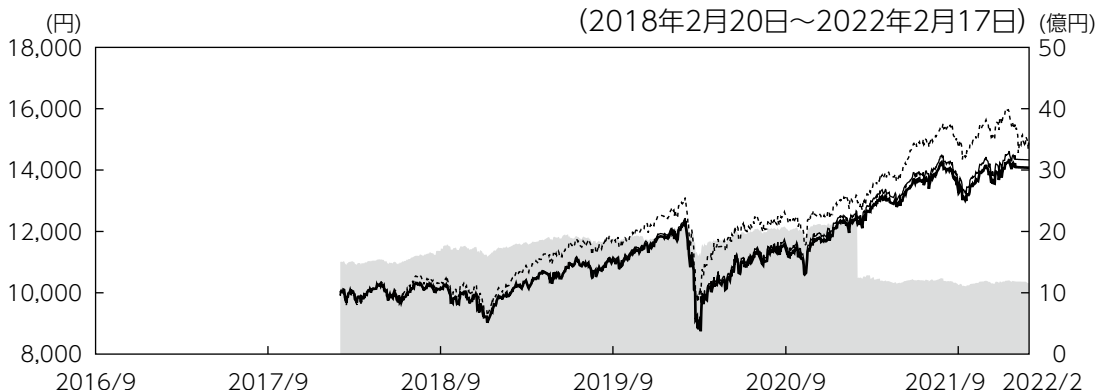
(注)費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注)各比率は、年率換算した値です。

(注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移
(為替ヘッジあり)



■ 純資産総額(右軸) — 基準価額(左軸) — 分配金再投資基準価額(左軸) 参考指数(左軸)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※参考指数は、設定時の基準価額に合わせて指数化しています。

	2018年2月20日 設定日	2018年9月18日 決算日	2019年9月17日 決算日	2020年9月17日 決算日	2021年9月17日 決算日	2022年2月17日 償還日
基準価額 (円)	10,000	10,119	10,973	11,583	13,637	14,076.75
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	80	60	60	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.2	9.2	6.2	18.3	3.2
スイスパフォーマンス指数 (スイスフランベース) 騰落率 (%)	—	3.0	13.2	8.4	19.1	△1.1
純資産総額 (百万円)	1,500	1,682	1,859	2,079	1,155	1,156

※スイスパフォーマンス指数(スイスフランベース)は当ファンドの参考指数です。

※各決算日は、表中の最後の決算日から起算して過去1年毎の決算日を表示しています。期間分配金合計は年間の分配金累計額、騰落率は年間の騰落率です。ただし、2018年9月18日の騰落率は設定時との比較、償還日の騰落率は2021年9月17日との比較です。

※設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本です。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

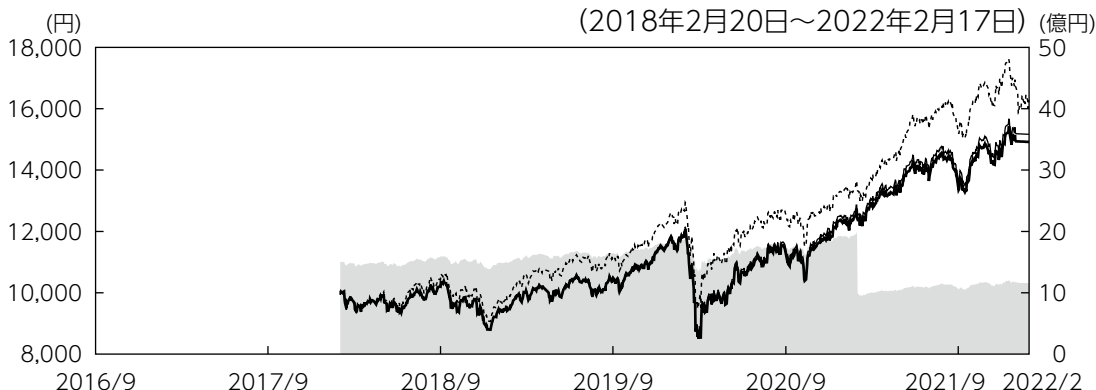
※純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

※参考指数に関して

・参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

参考指数の詳細は後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

最近5年間の基準価額等の推移
(為替ヘッジなし)



■ 純資産総額(右軸) — 基準価額(左軸) — 分配金再投資基準価額(左軸) …… 参考指数(左軸)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※参考指数は、設定時の基準価額に合わせて指数化しています。

	2018年2月20日 設定日	2018年9月18日 決算日	2019年9月17日 決算日	2020年9月17日 決算日	2021年9月17日 決算日	2022年2月17日 償還日
基準価額 (円)	10,000	10,195	10,377	11,466	13,774	14,917.24
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	60	60	60	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.0	2.4	11.2	20.7	8.3
スイスパフォーマンス指数 (円換算ベース) 騰落率 (%)	—	4.3	6.3	14.5	22.3	4.7
純資産総額 (百万円)	1,500	1,579	1,632	1,783	1,085	1,157

※スイスパフォーマンス指数 (円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。

※各決算日は、表中の最後の決算日から起算して過去1年毎の決算日を表示しています。期間分配金合計は年間の分配金累計額、騰落率は年間の騰落率です。ただし、2018年9月18日の騰落率は設定時との比較、償還日の騰落率は2021年9月17日との比較です。

※設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本です。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

※純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

※参考指数に関して

・参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

参考指数の詳細は後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

■ 投資環境

スイス株式

当期のスイス株式相場は上昇しました。期首から2021年12月末にかけて、比較的良好な企業決算の内容や新型コロナウイルスの新たな変異株に対する過度の警戒感が後退したことから、スイス株式相場は堅調に推移しました。その後は、米国における金融政策正常化の動きやウクライナ情勢を巡る先行き不透明感が世界の株式相場の重石となる中、長期金利が上昇しプラス利回りに転じたことも嫌気され、償還日にかけて下落しました。

外国為替

当期のスイスフランは円に対して上昇しました。スイスフランは、期首から2021年10月末にかけては英国における早期の利上げ観測を受けて、12月後半には同国における利上げ実施を受けて、英ポンドが他の欧州通貨をけん引する展開となる中、スイスフランは円に対して上昇しました。その後はウクライナ情勢を巡る先行き不透明感から投資家の欧州通貨に対する慎重な見方が広がったことから、スイスフランの円に対する上値は抑えられました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

スイス好配当株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

期首の運用方針に基づき、スイス好配当株式マザーファンドを通じて、主にスイスの好配当株式へ分散投資を行いました。また、（為替ヘッジあり）については実質外貨建資産について円を対貨とする為替ヘッジを行いました。なお、マザーファンドの運用に関して、ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント（スイス）エス・エーより助言を受けております。

なお、償還を控え、2022年1月中旬にマザーファンドをすべて売却しました。

スイス好配当株式マザーファンド

期首の運用方針に基づき、主にスイスの好配当株式へ分散投資を行いました。株式運用に当たっては、相対的に配当利回りが高く、安定的なキャッシュフローと収益を生み出し、かつ相対的に割安で高品質と判断されるスイス企業に厳選して投資を行いました。

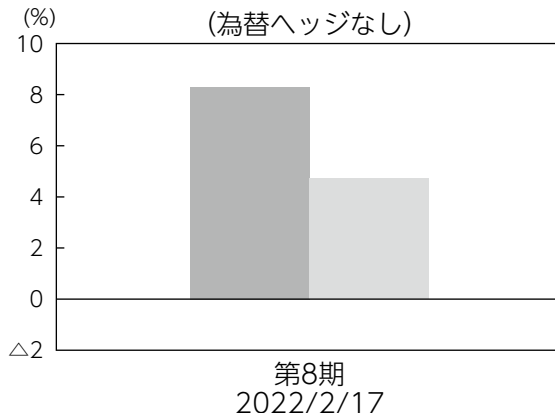
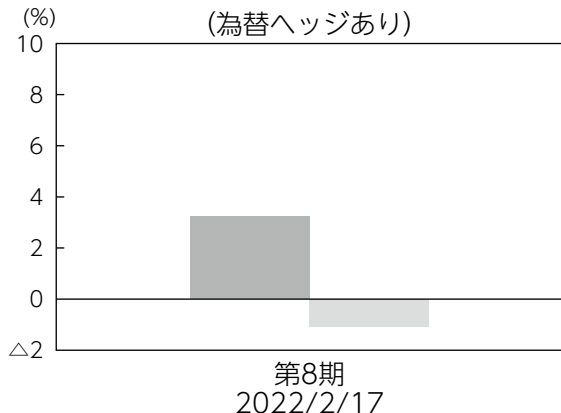
上記方針のもと、原材料価格上昇の企業業績に対する影響が目目される中、業績見通しや配当利回りを考慮したポートフォリオの構築を継続しました。具体的には、原材料価格上昇の影響が懸念される中、市場予想を下回る決算内容となったSIG COMBIBLOC GROUP AG（素材）を全売却した一方、原材料価格の上昇を製品価格への転嫁で対応し売上成長率見通しを引き上げたCLARIANT AG-REG（素材）を新規に組み入れました。また、HELVETIA HOLDING AG-REG（保険）を全売却した一方、配当利回りの高いSWISS RE AG（保険）を追加購入しました。

基準価額の上昇に寄与した銘柄としてはCIE FINANCIERE RICHEMON-REG（耐久消費財・アパレル）、SWISS LIFE HOLDING AG-REG（保険）、下落に影響した銘柄としてはPARTNERS GROUP HOLDING AG（各種金融）、KUEHNE + NAGEL INTL AG-REG（運輸）が挙げられます。

※設定以来の運用の経過の概略については償還運用報告書（全体版）をご参照ください。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

基準価額と参考指数の対比(騰落率)



■ 基準価額 ■ スイスパフォーマンス指数(スイスフランベース)

■ 基準価額 ■ スイスパフォーマンス指数(円換算ベース)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

上記グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当期の基準価額の騰落率は、(為替ヘッジあり)が+3.2%、(為替ヘッジなし)が+8.3%となりました。

一方、参考指数の騰落率は、(為替ヘッジあり)が△1.1%、(為替ヘッジなし)が+4.7%となりました。

お知らせ

該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式 特化型	
信託期間	2018年2月20日から2022年2月17日（当初、2028年2月18日）までです。	
運用方針	スイス好配当株式マザーファンドを通じて、主にスイスの好配当株式へ分散投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	スイス好配当株式 ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)	主として、スイス好配当株式マザーファンドを投資対象とします。
	スイス好配当株式 マザーファンド	スイスの証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
運用方法	<p>主に配当利回りの水準に着目しつつ、企業の財務状況、流動性およびバリュエーション等から投資魅力のある銘柄を選定し、ポートフォリオの平均予想配当利回りが市場平均以上になることを目指して運用を行います。</p> <p>スイス株式の実質的な運用に当たっては、ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント（スイス）エス・エーより投資に関する助言を受けて運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（為替ヘッジあり）は、実質組入外貨建資産について、原則として円を対貨とする為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。 ・（為替ヘッジなし）は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジは行いません。 	
分配方針	<p>年2回（毎年3月、9月の17日。休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

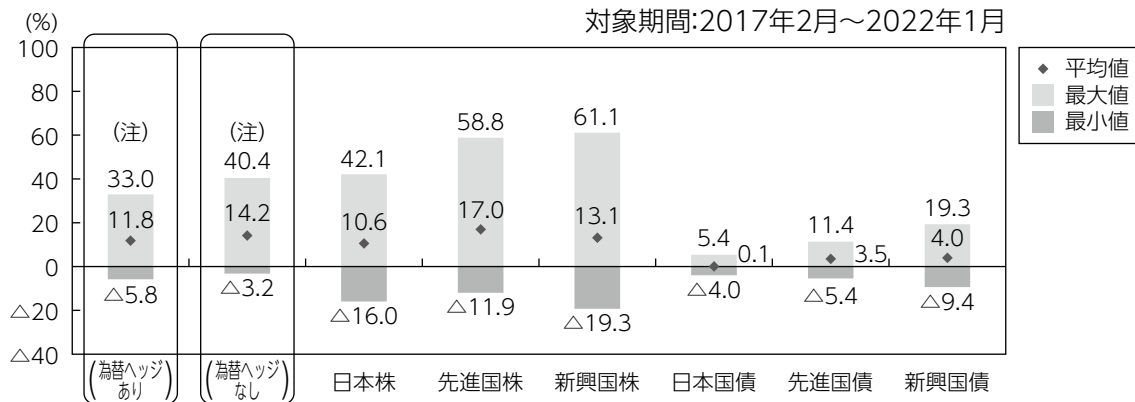
当ファンドは特化型運用を行います。

特化型運用ファンドとは、一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するファンドをいいます。

※寄与度とは投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める割合または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成割合をいいます。

当ファンドの実質的な投資対象であるスイス株式には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、投資先について特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記グラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、対象期間5年間の各月末における直近1年間の騰落率データ(60個)を用いて、平均、最大、最小を表示したものです。

※ファンドの年間騰落率のデータは、各月末の分配金再投資基準価額(分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算)をもとに計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。また、決算日を基準日とした年間騰落率とは異なります。

※すべての資産クラスが、当ファンドの投資対象とは限りません。

(注)当ファンドの年間騰落率のデータ数は、設定日から5年分(60個)に達していないことから、代表的資産クラスのデータ数と異なります。

※各資産クラスの指数について

資産クラス	指数名称	権利者
日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCI-KOKUSA I (配当込み・円換算ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み・円換算ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI (国債)	野村證券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注)海外指数は、対円での為替ヘッジなしによる投資を想定して、各月末の指数値を円換算または円ベースとしています。

※各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、上記に記載の各権利者に帰属します。

また、各権利者は当ファンドの運用成果等に関し一切責任を負いません。

各指数の詳細は後掲の<代表的な資産クラスの指数について>をご参照ください。

当該投資信託のデータ

■ 当該投資信託の組入資産の内容

(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

2022年2月17日現在、有価証券等の組み入れはございません。

※親投資信託の直近の計算期間の内容につきましては、償還運用報告書(全体版)に記載しています。

■ 純資産等

(為替ヘッジあり)

項目	償還時 2022年2月17日
純資産総額	1,156,217,835円
受益権総口数	821,366,998口
1万口当たり償還価額	14,076円75銭

※当期間中における追加設定元本額は2,684,303円、同解約元本額は28,559,855円です。

(為替ヘッジなし)

項目	償還時 2022年2月17日
純資産総額	1,157,387,416円
受益権総口数	775,872,231口
1万口当たり償還価額	14,917円24銭

※当期間中における追加設定元本額は5,876,848円、同解約元本額は18,095,557円です。

<当ファンドの参考指数について>

スイスパフォーマンス指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はSIX Swiss Exchange Ltdに帰属します。SIX Swiss Exchange Ltdは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。なお、円換算ベースは、同指数を委託会社で円換算したものです。

<代表的な資産クラスの指数について>

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所 市場第一部（以下、東証市場第一部ということがあります。）の時価総額の動きをあらわす株価指数であり、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）が算出、公表を行っています。東証市場第一部に上場しているすべての銘柄を計算の対象としていますので、日本の株式市場のほぼ全体の資産価値の動きを表しています。

東証株価指数（TOPIX）は東京証券取引所の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関する全ての権利およびTOPIXの商標に関する全ての権利は東京証券取引所が有します。東京証券取引所はTOPIXの指数値の算出若しくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出若しくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更若しくは使用の停止を行うことができます。東京証券取引所はTOPIXの商標の使用若しくはTOPIXの指数の利用に関して得られる結果について何ら保証、言及をするものではありません。


MSCI-KOKUSAIは、MSCI Inc.が算出する日本を除く世界主要国の株式市場を捉える指数として広く認知されているものであり、MSCI-KOKUSAI指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が算出する新興国の株価の動きを表す代表的な指数であり、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

NOMURA-BPI（国債）は、日本国債の市場全体の動向を表す、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド）は、J.P.Morgan Securities LLC（J Pモルガン）が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J Pモルガンの知的財産です。J Pモルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

 明治安田アセットマネジメント株式会社